

●「赤心」継がん

Dream

五代塾

Godaijuku

Sinbun (新聞)

第 27 号

発行: Dream 五代塾

吹田市千里山西 5-14-17

発行責任者: 理事長 川口 建

NHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」の背景

NHKのホームページには、番宣文句「勝海舟のライバル」と言われた男―日本初の遣米使節となって新時代の文明を体感し新しい国のかたちをデザインした江戸幕府の天才だが、明治新政府に「逆賊」とされ歴史の間に葬られた忘れられた歴史の“敗者”＝幕臣の知られざる活躍を描くスリリングな胸熱(むねねつ)エンターテインメント!」と企画意図がアップされている。

企画要旨は次のとおりである。

●幕府を倒した側ではなく、幕臣の側から幕末史を描く。

●“時代遅れな江戸幕府が明治維新で倒れ、日本はようやく近代を迎えた”という歴史観は、もはや過去のもの。近年の研究では、日本の近代は既に幕末から始まっていたことが明らか。司馬遼太郎が勝海舟と並べて「明治の父」と呼んだ人物、それが小栗忠順。

●幕末の日本は、現代と本当によく似ていた。グローバル経済に巻き込まれ、関税率の交渉に悩まされ、物価高と格差が人々の生活を直撃。またフェイクも含めた情報が拡散されて誰もが世相を批評するようになり、社会の分断が深刻化。更に災害やテロの脅威があり、大国のパワーゲームによる戦争の危機がすぐそこに……。明日どうなるかわからない不確実

大河ドラマ主人公・小栗忠順と五代友厚

― 2027年の第66作NHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」(主人公:小栗上野介(こうずのすけ)忠順(ただまさ)が発表された。2027年は小栗忠順生誕200年。五代友厚を扱ったNHK大河ドラマは誕生するのか。幕末維新に活躍した小栗忠順(1827-1868)と五代友厚(1836-1885)について考察した。―

Dream 五代塾会員 上村 修三
(五代友厚顕彰会世話人)

な時代。小栗は国の独立と社会の安定を守ろうと、近代化政策を推し進めた。

●小栗が国内外の諸勢力と繰り広げる外交・情報戦にスポットを当てる。次々と起こる幕末の事件の裏で起きていた、信頼と裏切りが交錯するスリリングで熱いドラマ。そこでは、人間対人間の真心と腹芸、そして情報が、一寸先の運命を左右する。それはライバルの勝にとっても同じ。

●明治新政府が歴史の勝者となったのは、さまざまな偶然の積み重ねだったとも言える。大いなる時代の転換期に、決して諦めず未来を切りひらこうとした先人たちの熱い思いを知り、もしかしたらあり得たかも知れない別の未来に思いをはせることが、今を生きる私たちの力になればと願っている。

NHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」が描く主人公・小栗忠順

1827年、江戸・神田駿河台生まれ。2500石の名門旗本で、天才的なエリート官僚。隅田川の花見でも花や酒には目もくれず治水について語り続け、周囲をあきれさせるようなオタク気質。1860年、遣米使節として渡米し西洋文明を体感。帰国後要職を歴任して軍制改革や近代的工場(造船・製鉄所)の建設、日本初の株式会社設立などさまざまな改革を推進する。特に、武士でありながら経済に明るい小栗は幕府にとって得難い人材で、何度も勘定奉行を務めた。空気を読まず上司に直言しては辞職し、辞めては呼び戻されること70

回という伝説も。大隈重信は、明治政府の近代化政策のほとんどは小栗の模倣だったと語ったという。江戸幕府終末期の勘定奉行として、その名は徳川埋蔵金伝説にも登場する。

「逆賊の幕臣」ストーリー

1860年、小栗忠順は、日本初の遣米使節団の中核として米艦ポーハタン号に迎えられ、大海原に乗り出す栄誉を得ていた。一方、日本の軍艦として随行する咸臨丸(かんりん丸)の勝海舟は、体調不良で船室から出ることでできず、米軍士官に指揮権を譲渡するという屈辱に震えていた。だが後世、偉業として語り継がれているのは「咸臨丸」の方だ。なぜなら小栗は、明治新政府に「逆賊」と見なされ、歴史の間に葬られたからである――

小栗を最初に取り立てたのは、大老・井伊直弼だった。黒船来航により日本が世界経済の渦に巻き込まれ混乱が増す中、武士には珍しく金勘定や数字に強く、上役にも直言する小栗に目をつけたのだ。小栗は遣米使節として西洋文明を目の当たりにし、外国に飲み込まれない近代国家づくりを急ぐと決意する。

しかし、それは容易なことではなかった。井伊の暗殺、朝廷による開国拒否、生麦事件など攘夷事件の続発。そしてその賠償金や、皇女・和宮の降嫁、将軍の上洛、長州征討などが、財政の逼迫に拍車をかける。更に西郷隆盛ら薩長の志士たちや島津家など大名が幕政に干渉し、インフレや格差に苦しむ民衆は暴動を起こす。そんな中で、列強が軍事力を背景に国の独立を脅かしてくるのだ。

小栗は財政・外交・軍事を預かる要職を歴任しながら、侵略の危機と国内の分断を食い止めるようと奔走する。やがて起死回生の策としてフランスから支援を取り付け、改革の加速を狙うが、協調していたはずの将軍・徳川慶喜の本心が徐々に見えなくなっていく。そんななか勝は、薩長やイギリスとも気脈を通じな



高橋 敏 著「小栗上野介忠順と幕末維新『小栗日記』を読む」(岩波書店 2013)
カバー：遣米使節団集合写真(米国海軍造船所視察)

がら、独自の近代化路線を構想していた。片や堅物のエリート、片や人たらしの叩き上げ。何もかも対照的な小栗と勝だが、二人とも開明派で幕府内では疎まれながら、事態が窮すると結局は頼られ、利用された。また、やるべきことをやればやるほど敵を増やし、命さえ狙われるところもやけに似ていた。

自分にはない才を互いに見て取り、対立しながらも一目置き合っていた二人。だが、幕府を「改良」して人々を束ねる「仕組み」を作りたい小栗と、幕府を「解体」してでも実力ある「個人」を活躍させたい勝、その運命は大きく分かれていく……。

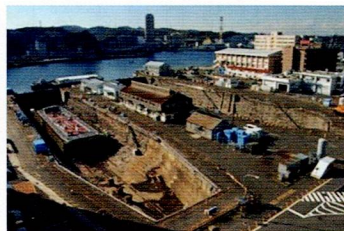
遣米使節団幹部として渡航

幕府は「日米修好通商条約」批准書交換のため使節団をアメリカに派遣することとなり、小栗は総勢77名の使節団NO3の目付に抜擢された。1860年1月、小栗はアメリカ艦船ポ―ハタン号に乗り込みハワイ経由でサンフランシスコに向かった。護衛の目的で随行したのがオランダ製威臨丸で、艦長は勝海舟でジョン万次郎、福沢諭吉ら96名が乗り込み、助っ人として米海軍人11名が乗り込んだ。サンフランシスコで威臨丸は日本に引き返すが、小栗ら一行は当時スペイン領であったパナマを目指し、パナマから鉄道で大西洋に出た。ここで小栗はこの鉄道は発起人の呼びかけによる出資金で敷設され、収益は出資金の額に応じて配当する株式会社手法を知ることとなった。ワシントンに到着すると、第15代大統領

ジェームスブキャナンに条約批准書を手渡した。その後、一行はワシントンの海軍造船所を見学し、溶鉱炉、反射炉、蒸気機関等の大工場設備に驚愕した。小栗は造船の基礎となる鉄骨などの部品や、それを結合するためのネジを大量生産していることを着目し、一本のネジを日本に持ち帰った。小栗はワシントン滞在中、約半月にわたってアメリカ政府と通貨交渉を行い、天保小判、一分銀およびそれと同じ額面を持つ一分金、二朱銀をフィラデルフィア造幣局に送って分析させ、一分銀の35・6セントに対し、一分金は89セントに相当することを確認させた。現行の通貨交換では日本が3倍損をする状況になっていることを説明し、小栗は「洋銀と一分銀の交換は禁止し、90セント1分として一分金との交換を行う」ことを主張したが、米国側は小栗の主張の正当性を理解するも、合意には至らなかったが、1両13ドル60セントの為替レートが決定された。幕府は金銀交換比率を諸外国並にするため、天保小判の1/3弱の金含有量の万延小判を新たに発行することになり、大幅なインフレを招く結果となった。

小栗は、ニューヨークから喜望峰をまわって、香港に立ち寄って品川に帰着した。9月には黒人奴隷の劣悪な待遇、清のアヘン戦争後の惨状を見聞した。帰国後、横須賀造船所建設、フランス語伝習所設立、滝野川火薬製造所・反射炉建設、株式会社「兵庫商社」創設、株式会社手法による築地ホテル建設等の施策

著者マイケル・ワート訳者野口良平
「明治維新の敗者たち 小栗上野介をめぐる記憶と歴史」(みすず書房 2019)
カバー：遣米使節団に参加した小栗がアメリカより持ち帰ったとされるネジ釘



小栗建議による仏技師ヴェルニーの指揮のもと、1865年に横須賀製鉄所で日本初となる石造りのドライドック(艦船の建造や修理のための施設)が起工された(出所/横須賀市HP)

を次々と打ち出した。鳥羽伏見の役(1868年)では主戦論を唱え、恭順派の勝海舟らと対立。幕府の役を解かれ領地の上州権田村に隠遁していたところを官軍に捕らえられ、翌日の5月27日に斬首された。

小栗はなぜ闇に葬られたか

大河ドラマは、「なぜ私たちはこれだけの逸材を知らなかったのか。その理不尽さを問いつつ、なぜ『逆賊』と

小栗の名はない。山川出版「新日本史B」に「幕府はフランス人技師の指導の下、横須賀造船所を建設するなど軍事力の強化をはかった」とあるが、やはり小栗の名はない。遣米使節については、ほとんどの教科書で、威臨丸のみ記述されて艦長、勝海舟とある。

160年近く見直されなかった小栗の功績が、2027年のNHK大河ドラマで多くの人々が知ることとなる。140年余にわたって悪徳政商のレッテルを貼られた五代友厚も、「140年の汚名返上」濡れ衣だった「汚点」と教科書修正をTV・新聞等で報道されたが、ほとんどの日本史教科書で五代の業績が記されていない(詳細は別号でレポートする。某テレビ局では、晩夏に特番「五代友厚」が放映されること。NHK大河ドラマで真実の五代を描くシーンを気長に待ちたい。

という汚名とともに歴史の闇に葬られたのか、なぜそこまで明治新政府に恐れられたのか」「その理由を一年かけて描きたい」の思いで展開していくこのことである。

	小栗忠順(1827-1868)	五代友厚(1836-1885)
出生	1827年、江戸で出生。三河以来の家臣、2500石旗本・長男として、小栗家12代目。安積長斎野塾に入門。剣道直心影流、柔術・兵学、砲術を学ぶ	1836年、鹿児島にて出生。幼い頃から学問と武術を修め、長崎海軍伝習所で航海術を学ぶ
身分	幕臣	薩摩藩士・新政府官吏(外国事務局判事/大阪)・実業家
主な活動・建議	外国奉行、勘定奉行、軍艦奉行、陸軍奉行・海軍奉行 兵制改革 日本初の軍艦購入、横須賀造船所建設、フランス語伝習所設立、滝野川火薬製造所・反射炉建設、株式会社「兵庫商社」創設、株式会社手法による築地ホテル建設	長崎小管修船場建設 川口運上初代大阪税関長・大阪港開港・造幣局誘致 大阪商法会議所初代会頭 大阪株式取引所設立 大阪商業講習所創設 金銀分析所・大阪活版所・鋁山業・紡績・鉄道・海運・藍業・大阪青銅会社・関西貿易社
海外渡航	1860年1月、遣米使節団の一員として渡米し、西洋先進技術や制度を見聞し、9月に帰国。訪米中、アメリカ側と通貨交渉	1862年、上海に密航し、西洋の状況を視察 1865年7月、イギリス、ベルギー、プロシア、フランスなどヨーロッパ各国を視察、紡績機械や武器の購入、貿易商社設立契約締結し、1866年2月帰国。第2回パリ万博に薩摩藩が独自に出品する交渉でモンブラン伯と協力
思想	開明的な思想 「幕府の運命に限りがあるとも、日本の運命には限りがない」	開明的な思想、利他の精神 「地位か名誉か金か、いや、大切なのは目的だ」
死因	1868年、高崎にて新政府軍により斬首享年42才	1885年、東京にて病死。享年49才
評価	幕府の近代化に尽力した	大阪経済の発展に貢献した 大阪経済の恩人
NHKドラマ	正月時代劇「またも辞めたか亭主殿」(2003) 大河ドラマ「青天を衝け」(2021) 大河ドラマ「逆賊の幕臣」(2027)	連続テレビ小説「あさが来た」(2015) 大河ドラマ「青天を衝け」(2021)
映画	映画「小栗上野介」(仮)製作準備委員会(2024-)	三浦春馬主演「天外者」(2020)
顕彰	「小栗まつり」(高崎市)5月 「ヴェルニー・小栗祭」(横須賀市)11月	五代友厚公顕彰墓参会(大阪)9月25日
資料蒐集	小栗上野介遺品館(高崎市) 横須賀市自然・人文博物館(横須賀市)	大阪企業家ミュージアム(大阪市)

五代友厚も立ち寄った 外曾祖父永見米吉郎の家(中)

Dream 五代塾顧問 曾野豪夫

薩摩藩士、欧州へ

慶応元年三月二十二日薩摩藩の英国留学生十五人の引率団四名の一人として提案者の五代友厚も参加した。明治維新の三年前のことだった。

往路は薩摩領串木野の港を幕府に隠密裏に出港して香港、シンガポール、ボンバー、アデン、スエズ、アレキサンドリア、マルタ、ジブラルタルを経て六十五日後の五月二十八日(西暦一八六五)にイギリスのサザンプトン港に到着した。

七ヶ月間にわたってイギリスとヨーロッパで調査を行った五代ら引率団は、同年十二月二十六日マルセイユで乗船し、マルタなどを經由して翌慶応二年二月九日に帰国した。合計十一ヶ月間余りの旅だった。その内乗船していた期間は往復で実に四ヶ月間に及んだ。しかしこの航海中の日々は無駄ではなかった。船内ではそれぞれの留学目的達成のために十分に打合せと確認ができ、また西洋人の同船者や乗組員と交流することでも英語と現地

の予備知識を得ることができた。また西洋式マナーも学んでいった。更に寄港したアジ



薩摩串木野羽島港のトマス・グラバー商会所有の蒸気船オースタライエン号と薩摩藩士(薩摩藩英国留学生記念館の記念碑を写す)

ア、中近東や北アフリカ地域の英領植民地などの実情を見てイギリスの国力に驚き、植民地支配されているアジア人などの苦悩を見てこれ又驚愕した。日本が、これから学びに行くイギリスなどに植民地支配されないようにしなければならぬ、と痛感した。ヨーロッパでの視察状況は他書に譲る。

幕末の五代友厚

鹿児島に戻った友厚は、直ちに藩から御納戸奉行格で勝手方御用人席外国掛の重職を命ぜられた。五代は三十二歳になっていた。四月から十月まで長崎在勤となり、パリ万博への展示品の準備や動皇方への武器供給などに奔走した。また馬関(下関)に出張して木戸孝允などと通商貿易について交渉し、商社への勧誘をおこなったりした。

一方、長崎の島津藩御用達永見傳三郎と弟米吉郎(筆者の外曾祖父)は五代からたつぷりと西洋事情と、往復途上で寄港した先々での植民地事情を教えられて興奮、憤慨、発奮した。五代はヨーロッパ製の機械と技術十数項目の日本での案件を構想して帰国したばかりである。その中には大坂での事業と名指して四項目を挙げていた。即ち、

- 一、動物園(人口の多い大坂用)
- 一、川堀蒸気機関(大坂の川堀浚渫用)
- 一、蒸気飛脚船大型外車(九州・四国・中国より大坂への往来用) 一艘

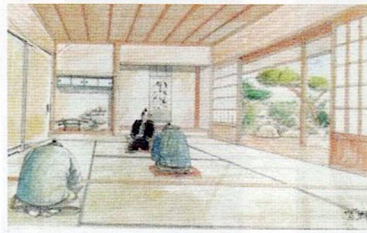
- 一、大坂より京師(けいし・京都)迄の蒸気車及び「テレグラフ」(電信)

また大坂用とは銘打っていないが明らかに大坂での事業用と思われる案件もあった。即ち綿や麻の紡績製糸工場や、造船所と船舶の修繕所の建設、小銃と大砲の製造所建設、商社の設立など多岐に亘った。

大坂に雄飛した永見米吉郎

五代は語った。「この傳三郎、おいどんはま

だ大坂に行ったことはない。今は朝廷と幕府と雄藩は対外政策で混乱しており日本の将来が気になるが、おいどんは藩の通商と外交の仕事で忙しい。何れは大坂で日本のために幾つもの新しい仕事を興したい。どうだ、弟の米吉郎を先に大坂に派して永見商店の分店を作らせてはどうか。そして日本のための仕事の地ならしをさせてはどうか。仕事はおいどんが幾つでもつくる。」若い米吉郎は天にも昇る心地で五代の言葉を聞いて畳に頭をすり付けて五代と兄傳三郎に「是非とも明日にでも大坂にゆかせて下さい」と頼んだ。二・三ヶ月後、米吉郎は薩摩の藩船「海運丸」に便乗して大坂に雄飛した。時に二十七歳。



永見商店に五代友厚を迎えて挨拶する永見傳三郎と弟米吉郎(想像図) 曾野由大画

動乱の幕末の大坂

翌慶応三年一月明治天皇即位。春、五代は小松帯刀、西郷吉之助、大久保一藏などと共に勤皇の大義を唱え、京坂の地に出張した。大坂には大きな薩摩藩邸があり公式的な仕事は藩邸の部下が取り仕切ったが、五代の新構想に関する調査事項等は長崎から大坂に送り込んだ米吉郎が動いた。大坂永見商店はまだ開業半年にしかならなかったが、長崎と連携をとって活発に金融業や諸産品の交易の糸口を作りつつあった。米吉郎は大坂弁の習得に務め、将来に備えて自分の手下となる長崎の親戚の若い衆を受け入れ始めた。

大坂での米吉郎の活動資金は、長崎で大手の物産金融取扱い商である兄傳三郎から潤沢に届けられた。後に傳三郎は明治十年創立の第十八国立銀行初代頭取となり、米吉郎の大

阪永見商店は代理店となった(まだ支店制度はなかった)。五代は米吉郎に自分がいっの日に大坂に出てくる時に備えて種々の内示を与えていた。

ところが間もなく誰もが想像もし得なかった天地がひっくり返る出来事が起こった。十月、朝廷から薩摩藩に倒幕の密勅が出された。翌日將軍徳川慶喜は大政奉還上表を朝廷に提出、十二月王政復古の大号令が出て幕府はあつてなく廃止され、十二日、慶喜は京師(京都)から大坂城に退いた。

大坂に呼び出された五代

翌四年一月三日鳥羽伏見の戦いが起こり、兵庫にいた五代は急を告げるため馬関(下関)に薩船で向かいすぐ大坂に戻った。京では戦火は戊辰戦争へと拡大し、七日將軍慶喜が開陽丸に乗って東走、九日大坂城が炎上し、大坂に住む各藩の武士や一般庶民は不安な日々を送っていた。米吉郎は長崎に戻るべきかを案じた。同日京の新政府に外国事務取掛が設置され、五代は二十三日上京を命ぜられて、徴士参与職外国事務掛に任命された。この月の「神戸事件」、翌二月「堺事件」と「イギリス・パークス公使襲撃事件」等の後処理について五代や伊藤博文などが解決に奔走した事項も他書に譲る。九月に明治元年と改元された。



五代友厚参与職外国事務掛明治元年正月 23 日

明治新政府の諸改革

最初の最大の改革は明治二年の版籍奉還とそれに続く四年の廃藩置県だった。版籍奉還により全国の藩が所有していた土地(版)と人民(籍)を朝廷に返還させた政治改革である。明治二年六月に勅許され、それまで藩主が治

めていた領地と領民を天皇に返したことで、天皇を中心とした中央集権国家をつくる礎なつた。実質的には領地は明治新政府のものとなり、すぐに払下げられた物件も多かった。五代の情報により米吉郎は旧吉田藩が所有していた大坂蔵屋敷を買い取り住居兼事務所としたのだった。敷地は約五三〇坪で、現在の淀屋橋の北西にある日本銀行大阪支店の南川を流れる土佐堀川を隔てて正面の住友ビルと東角部分である。詳しくは次号で説明するが筆者の外祖父永見省一（十八銀行監査役）と母慰（やす）などが生まれる場所となった。

時代は目まぐるしく動いてゆく。一月中旬、大久保利通は新政府の内閣事務掛となり、大坂鎮台が置かれた。鎮台とは江戸幕府の諸藩に属さない奉行所と郡代支配所の機能を引き継いだもので、すぐに名称を裁判所と変更して大坂、兵庫、長崎、京都、横浜等全国に十二ヶ所に設けられ、総督にはお公家さんが任命された。廃藩置県が実現したのは明治四年。

五代は徴士参与職外国事務掛となり、「神戸事件」の処理に伊藤博文と共に奔走した。月末に大久保は首都を大坂に遷都することを提案した。（五代の構想を実現しようとしたのだろう。）

二月、五代は徴士参与職外国事務局判事を任ぜられ、大坂に在勤して日本外交の実務担当の要職に就いた。「堺事件」と「パークス駐日英公使襲撃事件」を解決。五月、大阪府権判事に就任、九月判事となった。

五代、萱野豊子と結婚

初代兵庫県知事に就任していた伊藤博文と五代は幕末長崎時代から交流があり、神戸事件を共に解決した。五

代は、伊藤の部下で大和の儒家出身の森山茂（外交官、旧姓萱野）と親しくなり、明治三



五代豊子

年その妹萱野豊（トヨ）と結婚した。

昭和四年に五代豊子夫人の姪萱野晴が筆者の外祖父永見省一（十八銀行監査役）の後妻となり、筆者の長男正照が昭和四十三年に生まれた時はお祝いに「銀の匙」を頂いた。今、筆者初の曾孫が使っている。外祖父省一の一先妻綾は、五代の娘武子と藍子とは従姉妹関係であったが、未婚の三男六女を残して病死したのだった。



五代豊子の姪永見晴（旧姓萱野）と筆者の長男正照 1968 年

米吉郎が新たに購入した広い邸宅には五代もしばしば立ち寄った。米吉郎は長崎から自分の手下となる若い親戚数名を呼び寄せて住まわせ、大阪府庁の長崎弁が堪能な五代が自由に使えるように数名を入庁させた。明治一三と五年の大阪府庁職員録には永見姓の職員が六、七名記録されている。（以下次号）

Dream 五代塾活動状況

◆第22回 Dream 五代塾セミナー実施

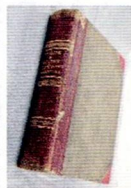
日時：2025 年 6 月 21 日（土）

14 時～16 時（原則偶数月第 3 土曜日）
テーマ：金銀分析所と改訂版薩摩辞書刊行

8 名参加で実施。五代は明治に入り造幣寮（造幣局）の誘致に関わり、実業界に転身すると共に金銀分析所を開設。各地の古金銀貨幣を買い入れ、新式の技術で分析、金銀を造幣寮へ収めた。この事業は実質 4 年間位であり、特に前半は五代の独占状態で巨利を得



た。古金銀貨幣の買入も限界があり、五代は鉱山事業に転換し最初に手掛けたのが奈良の「天和銅山」である。また、五代は外国との交流の盛隆にも注目し、「改訂版薩摩辞書」の刊行もした。



【おとわり】8 月 16 日定例セミナー（偶数月第 3 土曜日）はお休みします。

■①五代友厚公顕彰墓参会

及び②ミニセミナーと懇親会

日時：2025 年 9 月 25 日（木）

16 時～16 時 30 現地集合・自由参加

場所：大阪市設南霊園（阿倍野霊園）

尚②は 17 時頃より近隣の飲食店にて実施。（事前申込み、飲食費は参加者負担）
詳細は後日、メール又は HP にてお知らせします。



昨年（2024 年）の墓参会と懇親会風景

お知らせ・その他

■桑折町町制施行 70 周年記念企画展

「よみがえ

る半田銀山

と五代友

厚」開催中

9 月 15

日（月祝）迄

場所：旧伊

達郡役所

企画展
よみがえる半田銀山と五代友厚



編集後記

大阪・関西万博イベントのブルーインパルスの展示飛行が 7 月 12、13 日両日行われ、大変な人気であった。インパルスとは瞬間的に発生するエネルギー放出や信号を指す言葉とのこと。今回の展示飛行はわずか 35 分間、関西空港を飛び立ち通天閣、大阪城、吹田の万博記念公園、枚方、そして夢洲の万博会場での演技飛行をブルースカイに披露された。高度約 600m、最速時速 1000 キロとのこと。宮城県の松島基地に所属し 6 機編隊で宙返りや、垂直上昇、各種模様を描く。日頃の弛まない技術向上と鍛錬を重ねた結果だろうが、一糸乱れぬ飛行は本当に素晴らしい心が熱くなり、感動をたくさんの人々に与えたのではないだろうか？
そんな中、かの国の軍機が海上自衛隊機に 30 メートルと接近したとのこと。相手の顔が判りまさかトップガンの映画でもあるまいし、間違えば大変な事になるところだったと思う。国防の最先端の人達は日々訓練で覚悟はしているのだろうが、本当に恐ろしい任務を遂行されている。頭が下がる。我が国のトップと言う方の「なめられてたまるか」の言葉はかの国に対して言って頂きたいものだ。五代さんたちなら必ず言うべきことは言い、交渉したのではと思う。今回の展示飛行によりたくさんの人々の理解が進み、日本を守る方々への感謝を忘れないようにしたいものだ。（川口由美子記）

■テレビ放映？

某テレビ局では、晩夏に特番「五代友厚」が放映されるとのこと。放映の日時、内容が不明のため、分り次第 HP などに掲載します。ご期待ください。



（連絡先：川口建）
Email: gogoken12345@gmail.com
Tel: 080-4497-5688
HP: <https://www.dream-godai.com>